

ステップアップ研修「対話によるポジティブ・アプローチ」

【日時】	令和2年8月20日（木）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	31名
【講師】	株式会社 行政マネジメント研究所 丸山 宏昌 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>問題の原因を分析・追及するギャップ・アプローチだけではなく、未来に向けた目標の達成に焦点をあてたポジティブ・アプローチを学ぶ。また、様々な利害関係者と新しい関係性を創り出し、未来志向の対話を通して課題解決に導く手法を身につける。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① ポジティブ・アプローチに取り組む。 ② 問題と課題の違いを認識しながら、状況にふさわしい課題を設定する。 ③ 議論と対話の違いを理解し、未来志向で考える重要性を学ぶ。 ④ ファシリテーションとは何かを学び、課題解決に向け効率的に対話の場を進行するスキルを身につける。 ⑤ 課題の設定から解決策の検討・具体化までの一連のプロセスを学ぶ。
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーター（促進役）の役割として、アイスブレイクは是非やってみたいと思いました。また、会議や保護者会で話すことが多いので、話し方の基本はとても勉強になりました。一文の長さについても、さっそく実践で活用していきたいです。 ・ポジティブ・アプローチの課題設定で用いる技法については、これまでも研修やディスカッションなどで使ったことはありましたが、ファシリテーションについては単語だけで、実際どのような役割を持ち、どのように機能するかを学んだことがなかったので、非常に参考になりました。 ・窓口職場のため、区民の方と話をする機会は多く、相手を不快にさせないためのコミュニケーションスキルを学ぶことは重要だと感じました。また、ホワイトボードを使用している見える化は、職場でも活用できるので、積極的に取り入れていこうと思います。